

(様式2) 令和元年度【自己評価報告書】

学校番号	学校名
4	川崎市立橋高等学校定時制
校長名	吉田 宏

- (1)書き方については、19年度～21年度発行の「学校評価報告書」を参照ください。
 (2)評価項目設定については、各学校の実情に応じて取捨選択したり、新たな項目を各学校独自の言葉で作成したりして記入することもできます。
 (3)学校関係者評価を実施した学校は、「学校関係者の評価」に記入してください。
 (4)「今年度のまとめ・次年度へ向けての取組」に、今年度の学校運営のまとめと次年度への具体的な取組を記入してください。また、取組や課題に関連して、教育委員会の施策や事業に対するご意見、あるいはご要望等がございましたら記入してください。

学校教育目標	学校経営の目標	今年度の重点目標
真理と正義を愛し互いに敬愛の誠を尽くし、勤労と責任を重んじ、自主的精神に満ちた心身共に健康な平和国家社会の形成者の育成 1 知性と品性を高め豊かな情操の育成に努める 2 協同愛愛 3 自治の精神の確立 4 勤労愛好の習慣の体得	1 課題解決力を育てる教科指導 2 進路をみずえた特別活動等の指導 3 豊かな心で社会貢献できる人材の育成 4 魅力ある学校づくり	○基礎・基本の定着や応用力・課題解決力及び自己学習力の育成 ○個々の進路を考えた進路指導・生徒指導・総合的な探求の時間・特別活動指導の充実及び生徒の主体性の育成 ○人権尊重教育・道徳教育・共生教育、健康・安全教育・ESDによる豊かな心とコミュニケーション能力の育成 ○開かれた、信頼される学校づくりと活力あふれる教職員組織の構築

評価項目	具体的な取組	実現状況及び課題	具体的な改善策
1 教育課程・学習指導	◎個に応じた学習指導ができるように各指導日等の機会を活用し、よりきめ細かな学習指導を目指す。 ◎支援が必要な生徒に対する指導について、インクルーシブ教育を視野に入れながら、学校全体での取り組みを進める。 ◎授業に集中することが困難な生徒に対する指導方法も様々な観点から継続した課題として考えていく。 ◎「教養科担当者会」をさらに充実させ、履修者、定着率の向上に努める。 ◎新学習指導要領の移行期間に入る今年度は、昨年度の教務主任や教科代表者段階で研修した内容を、全職員に伝えるための伝達講習会などを企画・実施し、より良い新教育課程編成に役立てる。	☆個々の学力に応じた授業の対応や放課後の補習等、基礎・基本の定着を目標に様々な工夫がみられた。 ☆支援が必要な生徒に対する指導として、当該学年による放課後の基礎的学習指導を行った。 ☆様々な理由で授業に集中することが困難な生徒がいる中、学年を中心とした授業への対応を行った。 ☆今年度も定期的に「教養科担当者会」を行い、情報交換や、適切な指導が行えるように討議を深めた。その結果、履修者の定着率も向上した。 ☆全職員向けの校内研修はできなかったが、教務部や教科代表者段階で、市立高等学校各教科等研究協議会各部会や他校が開催する研修会に参加し、研修内容の共有を図った。	◎個に応じた学習指導が充実するように、各指導日等の機会を計画的に活用することも検討していく。 ◎特に支援が必要な生徒については、個々の指導計画を作成し、教員間で共通認識を持ち指導に努めていく。 ◎特別な支援が必要な生徒については、特別支援教育サポーターに協力を依頼することも考えていきたい。 ◎「教養科担当者会」において、三修制の科目である教養特講がより充実したものになるように、内容や形態について検討していく。 ◎各教科において、定期的に新学習指導要領に関する研修・研究を行い、新教育課程編成の作成に努める。
2 生徒指導	◎全体指導、学年集会だけでなく、必要であればその場で指導の徹底を図り、継続する。 ◎携帯電話・スマートフォンの授業中の使用だけでなく情報モラル教育を含め指導を進めるが、新入生については学校全体で指導の徹底を図る。 ◎生徒の、より一層の主体性や自主的なリーダーシップが育成できるよう、生徒会行事の一つ一つを通して場面ごとに側面からの指導を継続する。 ◎日常的な相談や定期的な面談や学校生活アンケート等を行うことで早期に問題を認識・認知し、迅速に対応できるように学校全体で取り組む。さらに家庭との連絡を密にし、保護者との連携を行うよう努める。	☆集団での指導だけでなく、様々な場面で適宜生徒に対し、適切な授業態度で授業に取り組むよう指導を行った。 ☆携帯電話・スマートフォンの授業中の使用については、なくなっているものの、ネットによる書き込み、画像や動画のマナー違反については継続して注意を必要とする。 ☆生徒会活動は、集会や行事を通して、主体性・自主性の向上が見受けられる。また、地域ボランティア清掃は年間3回実施しており、多くの生徒が参加している。 ☆年3回に及ぶ教育相談の報告や生徒学校生活アンケート結果を学年会等で、確認・検証し、情報を共有した。支援が必要と認められたときは迅速にケース会議を行い、きめ細かな対応を行った。また必要に応じてカウンセラーとの面談を行い、養護教諭や生徒部とも連携をしながら支援を行った。	◎教員間での指導に対する姿勢の徹底を図り、継続していく。 ◎次年度も、新入生について学校全体で携帯電話・スマートフォンの授業中の使用だけでなく情報モラル教育を含め指導の徹底を図る。 ◎生徒の、より一層の主体性や自主的なリーダーシップの育成が継続してできるよう、生徒会担当者の指導内容や方法を引き継いでいく。 ◎日常的な相談や定期的な面談や学校生活アンケート等を行うことで早期に問題を認識・認知し、迅速に対応できるように継続して取り組む。また、保護者との連携も継続して行うよう努める。
3 進路指導	◎キャリア教育では、単なる形式的な進路指導にとどまることなく、生徒に寄り添った指導を根気よく行っていく。 ◎キャリア教育におけるプログラムも生徒のアンケートや過去の実績を踏まえながら、適切なものを取り入れる。 ◎生徒にとって何がより有益なのかを検討しながら、生徒にとってよりよいものとは何かを検討し実施する。 ◎3修制(ジャンプアッププログラム)は、プログラムにキャリア学習・進路学習の充実が図られるような新しい学習内容を組み込む。 ◎卒業学年の生徒に対しては三者面談などで家庭の経済状況を鑑み、進学先に合格しながら、経済的な理由で入学を辞退するようにならないように、より丁寧に進路指導をしていく。	☆管理部進路指導担当と当該学年を中心に、地元企業や各種学校と連絡を密にし、一方で上級学校への指導を行うことで生徒の希望に沿う結果を得ることができた。 ☆全校生徒を対象に行われた、キャリア講演会や希望者への就労体験等によって、将来の進路への自覚を促し、その先にある生きる力を育てる教育を実践した。 ☆生徒の就労意識を高めるためのプログラムとして5月に分野別進路説明会・6月に校内企業説明会・7月・8月の就労体験・10月には外部講師によるキャリア教育講演会・1月には寸劇によるキャリア教育講演会を行った。どの学習も意欲的に生徒が参加し、生徒の進路対策や就労意識を高める成果があった。特に、校内企業説明会は、今年度初めて川崎市経済労働局と協力して実施したが、就職に対する心構えを学ぶよい機会になった。 ☆3修制(ジャンプアッププログラム)の履修者の卒業学年(3学年)の生徒に対して、9月からは進路対策として面接指導などを行った。また、2学年は面接対策、1学年はキャリアガイダンスを行い、キャリア学習・進路学習の充実を図った。	◎キャリア教育では、生徒に寄り添い根気よくコミュニケーションを取りながら指導していく。 ◎キャリア教育におけるプログラムについては、生徒のアンケートや過去の実績を踏まえながら、各学年の担任とも相談し、適切なものを取り入れていくようにしたい。 ◎今年度も「職業体験」を行わなかった。来年度以降、生徒にとって何がより有益なのかを検討しながら、生徒にとってよりよいものとは何かを検討し、実施したい。 ◎3修制(ジャンプアッププログラム)は来年度以降も、プログラムにキャリア学習・進路学習の充実が図られるような新しい学習内容を組み込んでいきたい。 ◎今年度、進学先に合格しながら、進路変更により入学を辞退する生徒がいた。卒業学年の生徒に対しては三者面談も含め、より慎重に進路指導をしていきたい。

4	安全管理	<p>◎防災訓練(第2回)は、停電時の避難の状況(教室・廊下などの照明は消す)に近づけて行う。できれば避難場所の照明も落として、できるだけ停電時に近い状況で実施する。</p> <p>◎今年度も必要な研修会・講演会は繰り返し開催していく。特に「携帯電話・スマートフォン使用教室」はその重要性から実施する。</p>	<p>☆今年度の防災訓練(第2回)も、停電時の避難の状況(教室・廊下などの照明は消す)に近づけて行い、災害時を想定した状況を体験することができた。</p> <p>☆今年度も生徒帰宅方法別名簿を作成し、帰宅訓練を行うことで定着を図った。</p> <p>☆今年度も生徒向けに「性に関する講演会」「薬物乱用防止講演会」を実施した。具体的なわかりやすい説明で生徒に効果的であった。教職員向けに「心肺蘇生法(AED)に関する研修」「食物アレルギー(エビベン使用方法)に関する研修会」を実施した。例年と重なる内容もあったが、年一回の受講は、確認の意味でも重要である。</p> <p>☆今年度は人権尊重教育講演会として「携帯電話・スマートフォン使用教室」を行った。</p>	<p>◎今年度と同様に防災訓練(第2回)は、停電時の避難の状況(教室・廊下などの照明は消す)に近づけ、できるだけ臨場感を持たせた状況で実施したい。</p> <p>◎来年度以降も、必要な研修会・講演会は繰り返し開催していきたい。今年度は「携帯電話・スマートフォン使用教室」は、人権尊重教育として行ったが、生徒指導として非常に重要であると認識しているので、来年度は生徒指導の一環としての実施も検討したい。</p>
5	組織運営	<p>◎キャリア教育委員会として、「かわさき教育プラン」の重点施策である「キャリア在り方・生き方教育」を参考に、社会情勢や生徒の実態に即した学習内容の見直しと改善を行っていく。</p> <p>◎改訂した「H29年度版校務の手引き」を活用し、さらに必要に応じ検討・修正を継続する。</p> <p>◎全職員を対象とした高大接続改革や新学習指導要領の周知に向けた職員研修の充実を図るよう努力する。</p>	<p>☆キャリア教育委員会では、指導計画に基づきながら、生徒の希望に即したきめ細やかな指導を行った。生徒への就業意識の浸透を図るため、外部講師や寸劇によるキャリア教育講演会を実施した。</p> <p>☆今年度も、職員研修として「心肺蘇生法(AED)研修」「食物アレルギー(エビベン)研修」「体罰防止研修」を行った。内容の定着を図るため、年1度の確認は必要である。</p> <p>☆新学習指導要領については解説書を配付し周知に努めた。大学入学共通テストに関する最新情報を周知した。</p>	<p>◎継続して、来年度以降もキャリア教育委員会として、「かわさき教育プラン」の重点施策である「キャリア在り方・生き方教育」を参考に、社会情勢や生徒の実態に即した学習内容の見直しと改善を行っていききたい。</p> <p>◎改訂した「H29年度版校務の手引き」を活用し、さらに必要に応じ検討・修正を継続し、修正された場合は、差し替え版を全職員に配布する。</p> <p>◎高大接続改革や新学習指導要領の周知に向けた情報提供や職員研修の充実を図るよう努力する。</p>
6	保護者・地域住民等との連携	<p>◎中学校訪問を行い本校の教育特性を理解してもらう。</p> <p>◎ホームページをより見やすく、内容も充実させて出来るだけ頻繁に更新する。</p> <p>◎近隣商店街の方々や、近隣地域住民の方々や文化祭等を通して交流を図る。</p>	<p>☆学校説明会の前に中学校訪問を行い、クラス用、個人用に本校資料を持参し、教育特性の情宣に努めた。また、授業公開も同時に行った。今年度も中学校訪問を1回とし、事前に集配で資料を中学校に送付することで補った。</p> <p>☆ホームページには、「タチスポ」等も載せ、内容の充実にも努めた。</p> <p>☆スポーツ大会や文化祭、授業公開は、近隣地域の方々、保護者、同窓会、入学希望者に公開した。</p>	<p>◎来年度も、中学校訪問を行い本校の教育特性を理解してもらうことは必要であるが、今年度の状況を見ながら、回数や内容についてより効果的、効率的な方法を検討したい。</p> <p>◎ホームページをより見やすく、内容も充実させて出来るだけ頻繁に更新する。</p> <p>◎近隣商店街の方々や、近隣地域住民の方々との交流について、文化祭や授業公開日等の機会を活用してより多くの方々との交流を図ることができないか検討していきたい。</p>

学校関係者の評価	今年度のまとめ・次年度へ向けての取組
<p>◎新学習指導要領の実施に向けたカリキュラム編成の取組については、継続して取組をお願いしたい。</p> <p>◎基礎学力の定着を図る取組や生徒がわかりやすい授業への取組等、さらなる教育の質の向上に努めていただきたい。</p> <p>◎三修制が定着しているようである。さらなる努力をお願いしたい。</p> <p>◎地域・家庭と学校が密接に連携できるような学校づくりをお願いしたい。学校と地域の共通の課題については協力して解決に向けて取り組みたい。</p> <p>◎橋高校は地域町内の避難所に指定されている。さらに地域との連携・交流ができればと考えている。</p>	<p>◎今年度の3修制(ジャンプアッププログラム)での卒業生は16名であった。これは現3年生在籍数41名のうち、39%という数字であり、過去最高である。今後もこの制度の充実に向け努力していきたい。定着率向上の方策の検討や新入生へのオリエンテーションを今後も充実させていきたい。</p> <p>◎今年度も支援学校出身者の入学や中学校の支援学級出身者があり、学年を中心に放課後等を使って特別な指導を行った。このような「より支援が必要な生徒」の増加が予測される中、学校全体でどのような対応が出来るのか検討するとともに、教育委員会からの協力も含め、今後解決すべき大きな課題の一つとなっている。</p> <p>◎授業に集中して取り組むことが難しい生徒に対する指導も継続した課題として残っている。</p> <p>◎新学習指導要領についての研修に教務主任や各教科の代表者が参加した。今後はこれを基に新教育課程の編成について各教科で研究を進めていきたい。</p> <p>◎保護者・地域住民の方々との連携については、地域ボランティア清掃以外にも文化祭や公開授業等の行事を通して行いたい。</p> <p>◎「心肺蘇生法(AED)研修会」や「食物アレルギー(エビベン使用方法)研修会」を継続すると共に、運動部の生徒等も研修会に参加させたい。</p> <p>◎来年度は、さらなる生徒の図書館利用の促進を図りたい。各教科の授業で図書館利用を推進していきたい。</p> <p>◎今年度、「かながわ部活ドリーム大賞」において、スポーツ賞及びキャプテン賞を受賞するとともに学校として準グランプリを受賞することができた。これは運動部の全国大会出場などの功績によるものであるが、来年度は文化部の活動にも力を入れ、学校全体の部活動への取り組みをさらに盛んにしていきたい。</p> <p>◎学校教育の根幹である授業に対しては継続して職員全員がより研鑽を積み、わかりやすく、主体的・対話的で深い学びにつなげることができるような授業を心がけたい。</p>